



俳画集

燕村俳僊帖

燕村俳僊帖
卷之二





十國子七

小粒の
生り好

好
る
風

六
年



あはれ
の
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ



かき
嶧の

目乃

涼花

り
すゝ



Handwritten text in a cursive script, likely Japanese or Chinese characters, arranged vertically. The characters are written in black ink on a yellowish paper background. The text is enclosed within a red hand-drawn diamond shape.

花巻

の

し

の

の



の

竹

鳥

のり

のり

白尚と誰





の食の
あつた
あつた
あつた

世の中を
言へる
唯兒の世
然





夢
屋の
と
ふ
と
か
り
か
り

鳥の身
かゝるは
あつた
体
花





Handwritten Japanese calligraphy in cursive style (sōsho). The text is arranged in two columns, reading from right to left. The right column contains the characters 'おのれ' (onore) and 'の' (no). The left column contains 'はらわす' (harawasu) and 'こと' (koto). The characters are written in a fluid, expressive manner.



いんげん
かき
の
ほの
清
ね
ね
ね
ね



有の雪
暗て
ある
老の
まの
痕
心

市井の
身なり
記





此の
野に
得る
物の
名



湖の
まはりの
中
に
月
が
照
る

あま



一
二
三
四
五
六
七
八
九
十



春の画の
 春の画の
 春の画の
 春の画の



此
は
墨
本
也
三



小男麻の
かぢり
みり
枯
子



祈いみね
風の口
おろし
北枝



日の国を
みりて
日着よ
ゆえに
正秀



抄
卷之八
曲羽筆

此
畫
乃
是
一
種
新
式
之
酒
也





かろき此の
中
祝
は

三
七
雄



霜の朝
社園
えんきさ
うきさ
こころの
うら



本節

此の如く
もつて
なり



鐘抑あんのん
のちりふ似ぬい
のん
こ



か、親子
く、ふ、も、を
誅
く



香蘇

香蘇
香蘇
香蘇
香蘇

目利する
けり
着る
目
如行



燕子
抄本
子
子

音羅



志賀貞乃を
湖の水

えぬら

素堂



明治四十四年二月七日印刷
同 年二月十二日發行



編輯者 秋保鐵太郎

京都市松原通西洞院西入十八番戶

發行兼 印刷者 秋保鐵太郎

